(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2010-20461
(P2010-20461A)
(43)公開日　平成22年1月28日(2010.1.28)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
G06Q 30/00	(2006.01)	G06F	17/60	326	
G06F 13/00	(2006.01)	G06F	13/00	540P	
G09F 19/00	(2006.01)	G09F	19/00	Z	

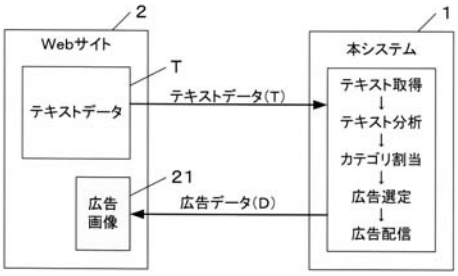
審査請求 未請求　請求項の数 4　ＯＬ　（全 7 頁）

(21)出願番号　特願2008-179089 (P2008-179089)
(22)出願日　平成20年7月9日 (2008.7.9)

(71)出願人　506378865
Ｊｅｔｒｕｎテクノロジ株式会社
東京都渋谷区南平台町１５－１０　ＭＡＣ渋谷ビル９階
(74)代理人　100114764
弁理士　小林　正樹
(72)発明者　野武　浩
東京都渋谷区南平台町１５－１０　ＭＡＣ渋谷ビル９階

(54)【発明の名称】広告配信システム

(57)【要約】
【課題】本発明は、Ｗｅｂサイトの内容を正確に分析することができ、広告を効率的に配信することが可能な広告配信システムの提供を課題とする。
【解決手段】Ｗｅｂサイトのテキストデータを取得して、テキストデータに含まれる名詞に基づいてテキストデータの内容を分析する。テキストデータの分析結果に基づいて、あらかじめ設定された一ないし複数のカテゴリをＷｅｂサイトに割り当て、該カテゴリに対応する広告データを選択したあと、Ｗｅｂサイトに広告データを配信する。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＷｅｂサイトにＷｅｂサイトに対応した所定の広告を配信する広告配信システムであって、
Ｗｅｂサイトのテキストデータを取得するテキスト取得手段と、
該Ｗｅｂサイトのテキストデータに含まれる名詞に基づいてテキストデータの内容を分析するテキスト分析手段と、
該テキスト分析手段による分析結果に基づいて、あらかじめ設定した複数種類のカテゴリから一ないし複数のカテゴリを当該Ｗｅｂサイトに割り当てるカテゴリ割当手段と、
割り当てられたカテゴリに対応する広告データを選択する広告選択手段と、
選択した広告データを当該Ｗｅｂサイトに配信する広告配信手段とを備えることを特徴とする広告配信システム。
【請求項２】
前記テキスト分析手段は、テキストデータに同一の名詞が所定の閾数以上含まれている場合、該名詞の個数を所定の閾数までとしてカウントする請求項１に記載の広告配信システム。
【請求項３】
前記テキスト分析手段は、テキストデータ含まれる各名詞に対して、該名詞の属性に応じた重み係数を掛け合わせる請求項１または請求項２に記載の広告配信システム。
【請求項４】
前記テキスト取得手段は、Ｗｅｂサイトが更新される毎にテキストデータを取得する請求項１または請求項２に記載の広告配信システム。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
Ｗｅｂサイトに対応した所定の広告を配信する広告配信システムに関するものである。
【背景技術】
【０００２】
近年、インターネットの普及に伴い、企業、個人にかかわらず多くのウェブサイトがインターネット上に立ち上げられている。最近では、いわゆるＨＡＴＭＬ形式のホームページだけでなく、誰でも簡単に作成できるブログが人気を呼んでいる。当初のブログは個人の日記感覚から始まったが、今では企業のウェブサイトの一つとしても数多く利用されている。
【０００３】
企業にとって、消費者に自社の広告を打つことが重要であり、インターネット上の広告も盛んに行われている。最近では、インターネット上のＷｅｂサイトに企業の広告を表示して、消費者がＷｅｂサイトを閲覧した際に当該Ｗｅｂサイト上の広告をクリックすると、当該Ｗｅｂサイトの運営者に報酬が支払われるアフィリエイト（成果報酬型広告）がある。
【０００４】
このアフィリエイトは、当初はＷｅｂサイト上に広告を固定する方式から始まったが、今ではＷｅｂサイトの内容に対応した広告を自動的に配信することが行われている。例えば、Ｗｅｂサイトが美容に関するブログである場合、美容に関する広告をＷｅｂサイトに配信して表示させる。これにより当該Ｗｅｂサイトを閲覧しているユーザは一般に美容に興味を持っているため、美容に関する広告を効率的に供することができる。
【０００５】
このようにＷｅｂサイトを広告を配信する場合、Ｗｅｂサイトの内容を分析する必要がある。このＷｅｂサイトの分析は、一般に所定時間ごとにＷｅｂサイトをクロールして、そこで取得したテキストデータを膨大なキーワードからなるデータベースと比較し、テキストデータに含まれるキーワードの個数などによってウェブサイトの内容を分析している。

【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００６】
しかしながら、ブログなどの爆発的な人気によって様々なＷｅｂサイトが出現することによって、Ｗｅｂサイトの内容も多岐に亘り、Ｗｅｂサイトの内容を正確に分析しにくいという問題が生じている。
【０００７】
すなわち、上述のように単にキーワードの個数によってＷｅｂサイトの内容を分析すると、当該Ｗｅｂサイトがキーワードと一致していない、あるいはキーワードと関係が低い場合には、関係のない広告が配信されることになる。
【０００８】
例えば、美容と関係の低いＷｅｂサイトにおいて美容に関するキーワードがたまたま多めに記載されり場合や、故意に美容に関するキーワードが記載された場合、当該Ｗｅｂサイトに美容に関する広告が配信されることになる。特にブログでは様々な情報を日々簡単に更新でき、しかも不特定の人間が投稿できる場合もあり、その問題は大きいものとなっている。
【０００９】
本発明は、上述の問題に鑑みてなされたものであって、Ｗｅｂサイトの内容を正確に分析することができ、広告を効率的に配信することが可能な広告配信システムの提供を課題とする。
【課題を解決するための手段】
【００１０】
本発明は、上記課題を解決するために、Ｗｅｂサイトに対応した所定の広告を配信する広告配信システムであって、Ｗｅｂサイトのテキストデータを取得するテキスト取得手段と、該Ｗｅｂサイトのテキストデータに含まれる名詞に基づいてテキストデータの内容を分析するテキスト分析手段と、該テキスト分析手段による分析結果に基づいて、あらかじめ設定した複数種類のカテゴリから一ないし複数のカテゴリを当該Ｗｅｂサイトに割り当てるカテゴリ割当手段と、割り当てられたカテゴリに対応する広告データを選択する広告選択手段と、選択した広告データを当該Ｗｅｂサイトに配信する広告配信手段とを備えることを特徴とする。これによればＷｅｂサイトの内容をカテゴリに応じて正確に分析することができ、広告を効率的に配信することが可能となる。
【００１１】
また、前記テキスト分析手段は、テキストデータに同一の名詞が所定の閾数以上含まれている場合、該名詞の個数を所定の閾数までとしてカウントするのが好ましい。これによればＷｅｂサイトに不当に名詞が数多く含まれている場合でも、所定の閾数としてカウントするため、Ｗｅｂサイトの内容をより一層正確に分析することができる。
【００１２】
また、前記テキスト分析手段は、テキストデータ含まれる各名詞に対して、該名詞の属性に応じた重み係数を掛け合わせるのが好ましい。これによれば名詞の属性に応じてＷｅｂサイトの内容をより一層正確に分析することができる。
【００１３】
また、前記テキスト取得手段は、Ｗｅｂサイトが更新される毎にテキストデータを取得するのが好ましい。これによればＷｅｂサイトに対して最適な広告をタイムリーに配信して表示させることができる。
【発明の効果】
【００１４】
本発明によればＷｅｂサイトの内容をカテゴリに応じて正確に分析することができ、広告を効率的に配信することが可能となる。
【００１５】
このため広告主にとってはユーザのニーズに沿った広告を配信できるため広告効果が向

上することができる。しかも、各キーワードを細かく設定するのではなくカテゴリを設定するだけでよいので広告のための労力を軽減することができる。

【００１６】

また、Ｗｅｂサイト運営者にとっては、広告のクリック率が高まるため、成果報酬を効率的に獲得することができる。

【００１７】

また、ユーザにとっては、Ｗｅｂサイトを閲覧しているときに、自分にとって興味のある広告を閲覧することができる。

【００１８】

このように本システムによれば、広告主、Ｗｅｂサイト運営者、ユーザの三者のいずれにとっても最適な広告効果を奏することが可能となる。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１９】

次に本発明の一実施形態に係る広告配信システム（以下、本システムという）について説明する。

【００２０】

図１は、本システム（１）とＷｅｂサイト（２）を示す構成概略図である。本システム（１）およびＷｅｂサイト（２）は別々のサーバによって管理され、互いにインターネット等のネットワークを通じて通信可能な状態で接続されている。

【００２１】

なお、本実施形態では、本システム（１）に接続されているＷｅｂサイト（２）の一つを図示しているが、実際には複数のＷｅｂサイト（２）が接続されている。

【００２２】

前記Ｗｅｂサイト（２）は、主にブログや掲示板からなるものであり、Ｗｅｂサイト（２）の内容に応じたテキストデータ（Ｔ）が掲載されている。Ｗｅｂサイト（２）がブログの場合、掲載されるテキストデータ（Ｔ）はＲＳＳフィードにより記述されている。このＲＳＳフィードは、ウェブサイトの見出しや要約などのメタデータを構造化して記述するＸＭＬサマリデータであり、時系列で羅列されたテキストデータ（Ｔ）である。テキストデータ（Ｔ）の内容としては、例えば商品情報、サービス情報、セミナー情報、企画日記、投稿など挙げられる。

【００２３】

また、Ｗｅｂサイト（２）の所定箇所には広告枠（２１）が設置されており、後述するように本システム（１）から配信される広告データ（Ｄ）に基づいて所定の広告画像がタイムリーに表示されるようになっている。この広告画像は、静止画または動画からなり、Ｗｅｂサイト（２）の内容に対応したものとなされている。例えば、Ｗｅｂサイト（２）において美容に関するテキストデータ（Ｔ）が中心に記載されていれば、広告画像も美容関係の企業のものとなることが多い。

【００２４】

前記本システム（１）は、Ｗｅｂサイト（２）のテキストデータ（Ｔ）を取得するテキスト取得部（１０１）と、テキストデータ（Ｔ）を分析するテキスト分析部（１０２）と、Ｗｅｂサイト（２）にカテゴリを割り当てるカテゴリ割当部（１０３）と、Ｗｅｂサイト（２）のための広告データ（Ｄ）を選択する広告選択部（１０４）と、広告データ（Ｄ）をＷｅｂサイト（２）に配信する広告配信部（１０５）と、各種ＤＢ（１０６）（１０７）と、これらを統括的に制御する制御部（１０８）とを備える。

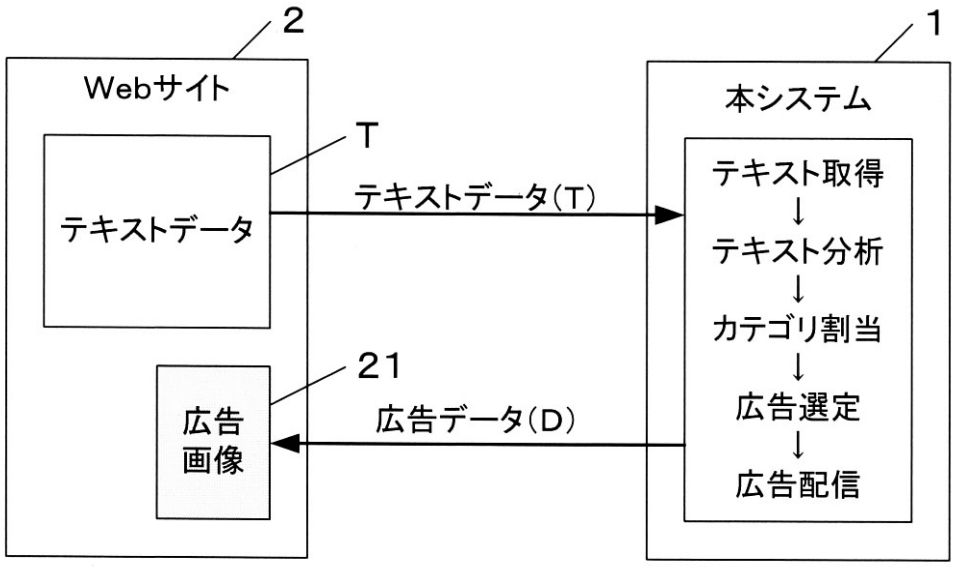
【００２５】

前記テキスト取得部（１０１）は、Ｗｅｂサイト（２）のテキストデータ（Ｔ）をネットワークを介して取得するものである。テキストデータ（Ｔ）の取得方法としては、一定時間ごとにＷｅｂサイト（２）にテキストデータ（Ｔ）を取得するものであってもよいし、あるいはＷｅｂサイト（２）が更新されたときに更新情報を受けてテキストデータ（Ｔ）をタイムリーに取得するものでもよい。

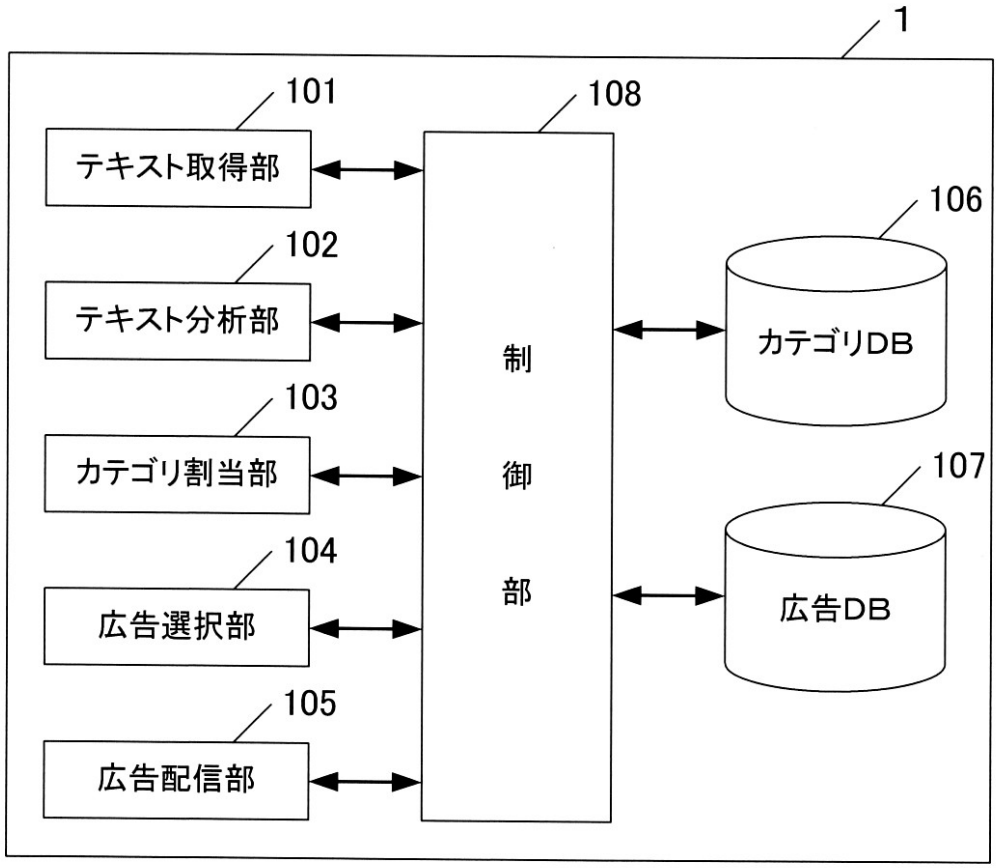
【００２６】
前記テキスト分析部（１０２）は、テキスト取得部（１０１）により取得したテキストデータ（Ｔ）を分析するものである。このテキスト分析部（１０２）は、テキストデータ（Ｔ）から名詞のみを抽出し、各名詞に所定の重み係数を掛け合わせる。例えば、固有名詞の場合には重み係数１を掛け合わせ、一般名詞の場合には数値０．７５を掛け合わせる。このように固有名詞を一般名詞よりも高い重み係数としたのは、固有名詞の方がよりサイトの内容を表す場合が多いからである。
【００２７】
また、テキスト分析部（１０２）は、同一名称の名詞が複数存在する場合には、あらかじめ設定された所定の閾数以下の場合には当該個数をカウントし、所定の閾数を超える場合には当該閾数としてカウントする。このように同一名称の名詞の個数を最大でも閾数以下としたのは、ブログや掲示板において不当に同一名称を記載したものを制限するためである。
【００２８】
前記カテゴリ割当部（１０３）は、テキスト分析部（１０２）による分析結果に基づいて、あらかじめ設定した複数種類のカテゴリから一ないし複数のカテゴリを割り当てるものである。
【００２９】
具体的に説明すると、図３に示すように、複数の本カテゴリと、本カテゴリに従属する複数のサブカテゴリがあらかじめ設定されており、各サブカテゴリに対して所定の名詞が割り振られており、カテゴリＤＢ（１０６）に記憶されている。
【００３０】
カテゴリ割当部（１０３）は、テキスト分析部（１０２）により分析された各名詞に基づいて、対応する一ないし複数のカテゴリ（サブカテゴリ）をＷｅｂサイト（２）に割り当てるものである。このとき名詞の種類や個数によって各カテゴリの割合も異なる。例えば、テキスト分析部（１０２）の分析の結果、あるＷｅｂサイトは「英語」カテゴリに関する名詞が２４％、「ファッション」カテゴリに関する名詞が８％、「テレビ」カテゴリに関する名詞が８％、「芸能ニュース」カテゴリに関する名詞が８％含まれている場合、各割合の高い順にカテゴリが割り当てられる。
【００３１】
前記広告選択部（１０４）は、割り当てられたカテゴリに対応する広告データ（Ｄ）を選択するものである。広告主である企業は自社の希望するカテゴリをあらかじめ選び、そのカテゴリに対して所定の広告データ（Ｄ）を設定しており、これが広告ＤＢ（１０７）に記憶されている。そして、広告選択部（１０４）は、カテゴリ割当部（１０３）によりＷｅｂサイト（２）に割り当てられたカテゴリに基づいて、当該カテゴリに対応した広告データ（Ｄ）を選択する。
【００３２】
前記広告配信部（１０５）は、広告選択部（１０４）により選択された広告データ（Ｄ）を当該Ｗｅｂサイト（２）に配信するものである。特にＷｅｂサイト（２）が更新されるごとに広告データ（Ｄ）を配信するものとした場合、Ｗｅｂサイト（２）には掲載されている情報に応じた広告がタイムリーに表示され、いわゆる広告表示のタイムラグを短縮あるいはなくすことができる。
【図面の簡単な説明】
【００３３】
【図１】本システムの構成概略図である。
【図２】本システムの機能を示すブロック図である。
【図３】カテゴリの一例を示す図である。
【符号の説明】
【００３４】
１…本システム

２…Ｗｅｂサイト
１０１…テキスト取得部
１０２…テキスト分析部
１０３…カテゴリ割当部
１０４…広告選択部
１０５…広告配信部
１０６…カテゴリＤＢ
１０７…広告ＤＢ
１０８…制御部
２１…広告枠
Ｔ…テキストデータ
Ｄ…広告データ（Ｄ）

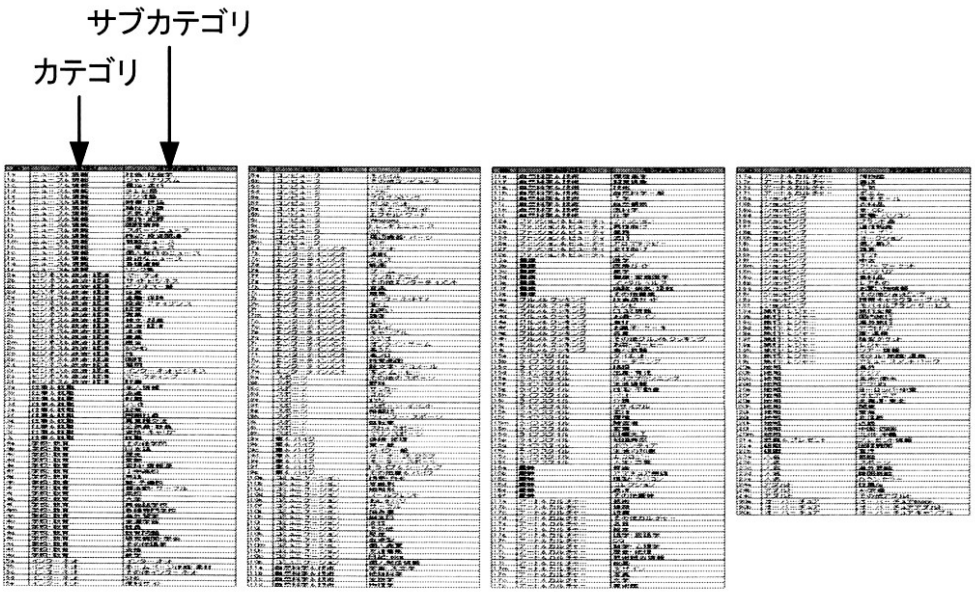
【図１】



【図２】


1
101
テキスト取得部
102
テキスト分析部
103
カテゴリ割当部
104
広告選択部
105
広告配信部
108
制
御
部
106
カテゴリDB
107
広告DB

【図３】


サブカテゴリ
カテゴリ